

11.障害福祉に関する施策

■施策評価シート11-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	11-01-①	施策名	障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実	

施策の概要
障害のある人のいのちと健康を守り、安心して日常生活が送れるようにするため、保健・医療・福祉等の関係機関の連携に努めるとともに、日常生活支援等の充実や細やかな相談支援を通じた障害福祉サービスの提供や施設整備の支援を行い、暮らしを支える基盤の充実と安定を図ります。

成果指標(単位)	計画相談支援利用率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	90.8%	92.8%	94.8%	96.8%
実績値	88.8%	88.9%			

成果指標実績に対するコメント
計画相談支援利用率について、前年度より0.1%増加した。障害福祉サービスの利用者が増加する中で、基幹相談支援センターや各相談支援事業所と連携して計画相談支援を実施したことが利用率の上昇につながったと考えられるものの、目標値には及ばなかったことから、より多くの障害福祉サービス利用者が計画相談支援事業を利用され適切なケアマネジメントが行われるように、事業所等と継続して取り組んでいく必要がある。

施策の達成度評価
関係機関と連携しながら、障害のある人の現状に即した障害福祉サービスの提供を実施した。また、施設整備に対する支援や計画相談事業所への補助等を行い、暮らしを支えるサービス基盤の充実に取り組んだことで、障害福祉サービスの利用者が増加する中でも、相談支援や日常生活支援、家族等への支援に係るサービスを適切に提供することができたと思う。引き続き、サービス基盤の充実を図りたい。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、偏差値が昨年度実績を上回る数値となった。 障害のある人が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように、各種障害福祉サービスの維持と適正運用、施設整備の促進等により、引き続きサービス基盤の充実を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、障害のある人のケアマネジメントを充実し、より利用者の現状に即した支援を提供することができるよう、計画相談支援事業所やサービス提供事業所など関係機関との連携を強化し、暮らしを支える基盤の充実と安定に取り組む。
相談支援体制を強化していくことは、様々な障害福祉サービスや給付・補助事業につながるものであることから、「No.6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」の指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、障害福祉サービス提供基盤の充実に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
居宅介護事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
生活介護事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
サービス利用計画事業	障害福祉課	○	サービス等利用計画の作成により、適正なサービスの利用につながったため。

■施策評価シート 11-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
24時間対応型利用制度支援事業	障害福祉課
育成医療給付事業	障害福祉課
医療的ケア児保護者支援事業	障害福祉課
行動援護事業	障害福祉課
人材育成研修受講支援事業	障害福祉課
施設整備費補助金事務	障害福祉課
共同生活援助事業	障害福祉課
緊急通報システム支援事業	障害福祉課
軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業	障害福祉課
湖南地域地域活動支援センター事業	障害福祉課
更生医療給付事務	障害福祉課
高額障害福祉サービス等給付事業	障害福祉課
在宅重度障害者住宅改造費補助金事務	障害福祉課
施設入所支援事業	障害福祉課
滋賀型地域活動支援センター運営費補助金事務	障害福祉課
自立訓練事業	障害福祉課
社会的事業所運営費補助金事務	障害福祉課
重度訪問介護事業	障害福祉課
障害支援区分認定事務	障害福祉課
障害者施設家賃補助事業	障害福祉課
障害者紙おむつ助成事業	障害福祉課
障害者自立支援事業所運営費補助事業	障害福祉課
障害者生活支援システム運用事業	障害福祉課
障害者福祉計画推進事業	障害福祉課
相談支援機能強化事業	障害福祉課
短期入所事業	障害福祉課
地域相談支援給付事業	障害福祉課
同行援護事業	障害福祉課
特別障害者手当等給付事業	障害福祉課
日常生活用具給付事業	障害福祉課
日中一時支援事業	障害福祉課
補装具給付事業	障害福祉課
訪問入浴サービス事業	障害福祉課
療養介護医療給付事業	障害福祉課
療養介護事業	障害福祉課
指定特定相談支援体制強化事業	障害福祉課
重症心身障害者通所施設運営費補助金事務	障害福祉課
基幹相談支援事業	障害福祉課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		7							

■施策評価シート

11-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	11-01-②	施策名	障害のある人の社会参加の促進	

施策の概要

ともに育ち、学び、遊び、輝けるような暮らしやすい社会づくりを進めるため、就労支援や外出支援、コミュニケーション支援等の充実を図ります。

成果指標(単位)	福祉施設から一般就労への移行者数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		28	31	34	37
実績値	26	30			

成果指標実績に対するコメント

福祉施設から一般就労への移行者数について、前年度より4名増加し、目標値を達成することができた。職場体験や実務訓練、ビジネスマナー習得、面接対応等の就労サポートを利用者に寄り添って実施したことが実績に結びついたと考える。

施策の達成度評価

関係機関と連携しながら、障害のある人が社会参加できる環境を整え、個々の能力を発揮できる環境づくりを進めたことで、就労支援や外出支援等に係るサービスを適切に提供することができたと考える。特に、就労系サービスについては、丁寧にアセスメントを実施し、利用者の意向や能力、経験を基に、必要とされるサービスに結びつけることができた。引き続き、利用者の意向や特性に寄り添ったサービスの提供を図りたい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、偏差値が昨年度実績を上回る結果となった。
就労継続支援事業や移動支援事業、コミュニケーション支援事業等の各種取組を継続して実施することにより、障害のある人のさらなる社会参加につなげたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、就労支援や外出支援、コミュニケーション支援等の取組を推進する。また、令和9年度より就労選択支援事業の対象となる範囲が拡大することから、就労系サービス事業所や相談支援事業所などの関係機関と連携をさらに強化して事業を展開する。

「No.6私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」の指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、関係機関と連携して障害のある人の社会参加につながる取組を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
就労継続支援事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
移動支援事業	障害福祉課	○	屋外での移動が困難な障害のある人の自立した生活および社会参加を促進することができたため。
コミュニケーション支援事業	障害福祉課	○	手話通訳者および要約筆記者の派遣を通じて、障害がある人の社会参加につながったため。また、手話奉仕員養成講座の開催により、手話通訳者の養成が図れたため。

■施策評価シート 11-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
孤立化防止対策事業	障害福祉課
自動車改造支援事業	障害福祉課
自動車燃料・福祉タクシー運賃助成事業	障害福祉課
社会参加促進事業	障害福祉課
就労移行支援事業	障害福祉課
障害者就労促進事業	障害福祉課
障害者相談員活動事業	障害福祉課
精神障害者生活支援推進事業	障害福祉課
点字新聞購読費助成事業	障害福祉課
重度障害者等就労支援事業	障害福祉課
手話通訳員配置事業	障害福祉課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		7							

■施策評価シート

11-01-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	11-01-③	施策名	障害と障害のある人への理解促進と尊厳の保持

施策の概要

すべての人権が守られ、一人ひとりの尊厳が保たれるようにするため、障害者福祉センターを核とした多様なふれあい・交流や知識普及と意識啓発により、障害と障害のある人についての理解促進を図るとともに、成年後見制度の利用支援や虐待防止対策事業の推進等に努めます。

成果指標(単位)	「共に生きる社会の推進」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	19	21	23	25
実績値	16	17.4			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「共に生きる社会の推進」に満足している市民の割合は前年度に比べて1.4ポイント増加した。事業の参加者には意識啓発・理解促進が図れたことが満足度の上昇につながったと考えられるものの、目標値には及ばなかったことから、より多くの市民に届くように継続した啓発が必要である。

施策の達成度評価

成年後見制度の利用促進や虐待防止対策にかかる事業を実施した。また、12月の障害者週間に合わせたパネル展示等の啓発や草津手をつなぐ育成会との協働事業による出前講座等を実施した結果、権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進を図れたことで、満足度の上昇につながったと考えられる。引き続き、障害と障害のある人についての理解促進を図りたい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」があり、いずれも偏差値が昨年度実績を上回る数値となった。各種の取組を継続して実施することにより、引き続き、権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、成年後見制度の利用促進や虐待防止対策にかかる事業を実施し、権利擁護の取組を推進する。また、障害者福祉センターを核とした多様なふれあい・交流や意識啓発等を継続するとともに、草津手をつなぐ育成会との協働事業を行う等、障害と障害のある人への理解がより多くの市民に広がるよう、関係機関と連携して事業を展開する。

「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、関係機関と連携して権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進に係る取組を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
障害者福祉センター管理運営事業	障害福祉課	○	多様な啓発活動などを適切に実施することができたため。
成年後見制度利用支援事業	障害福祉課	○	電話、訪問等による相談、申立支援を通じて、成年後見制度の利用につながったため。
障害者虐待防止対策支援事業	障害福祉課	○	支援体制の専門性の強化を図ったり、被虐待者を一時的に保護する居室等の確保を行うことで、虐待事案への備えや対応を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
精神保健福祉対策事業	障害福祉課
各種団体活動費補助金事務	障害福祉課
障害福祉推進事務	障害福祉課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		96						